

拠出金名： 国際開発教育・研究機関拠出金

国際機関等名	アジア工科大学院 (略称) AIT					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当局課名	外務省経済協力局国際機構課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レート		
平成14年度	89,060	730		1\$ = 122円	(2002年)	100
平成13年度	147,019	1,374		1\$ = 107円	(2001年)	100
平成12年度	148,617	1,415		1\$ = 105円	(2000年) 11.7	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 1998～2002年のもの	
1位	タイ		23.8			
2位	日本		11.5			
3位	スウェーデン		10.6			
4位	デンマーク		6.9			
5位	スイス		5.4			
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
拠出金の多くを占める奨学金は、直接的に受給生の日本に対する好意に繋がっており、卒業後に各国の要職に就いている卒業生のネットワークは貴重な財産として評価できる。また、奨学生は、AIT側とAITに派遣されているJICA専門家との協議に基づいて奨学生の分野等が決められており、JICA専門家による指導と相俟って、我が国の「顔の見える援助」となっている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
1999年5月に就任したArmand学長のもと、AITの行政改革(教授や職員の給与・義務等)が実行に移されており、評価しうる。						
邦人職員数 うち幹部以上	9人(教授) うち 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	123人(教授) 0.7%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
いずれも教授						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
今後もJICA専門家を派遣することを検討している。						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2000年～2002年)。